

修士課程科目(H31)		授業形態	講義	先端バ ^イ イ：選択必修2単位 高度メ ^イ イカ ^ル ：自由2単位
科目名	顎顔面放射線学	ナンバリング コード		先端バ ^イ イ：GDMFB1013 高度メ ^イ イカ ^ル ：GDMAM1015
テーマ	顎顔面領域における放射線診断及び治療法			
開講時期	後期（※博士課程の講義を受講するので日程に注意すること）			
授業場所	歯学部第4セミナー室（医歯学総合研究棟1（歯学系））			
担当教員	馬嶋秀行（hmajima@dent.kagoshima-u.ac.jp） 犬童寛子（hindoh@dent.kagoshima-u.ac.jp）			
G I O	顎顔面領域における放射線診断及び治療法について理解する。			
S B O	口腔及び顎顔面領域における放射線の歯科医学的利用に関連し、基礎的知識と技術及びその臨床応用について学習する。			
授業内容（90分×15回）				担当者
1	顎顔面放射線学概論（1）			馬嶋秀行
2	顎顔面放射線学概論（2）			犬童寛子
3	高速らせんCTの基礎的原理と撮像方法			犬童寛子
4	CTによる口腔腫瘍血管描出			犬童寛子
5	CTによる口腔腫瘍診断とその問題点			犬童寛子
6	高磁場MR検査の基礎的原理と撮像シーケンス			犬童寛子
7	MRの組織分解能の限界と問題点			犬童寛子
8	MRによる腫瘍アンギオグラフィー			犬童寛子
9	核医学検査の基礎的原理と口腔腫瘍への応用			馬嶋秀行
10	核医学検査による頸部リンパ節、リンパ流解析			馬嶋秀行
11	口腔腫瘍画像診断学の将来展望			馬嶋秀行
12	顎顔面放射線治療における基礎的概念			馬嶋秀行
13	放射線治療効果に影響する因子			馬嶋秀行
14	放射線治療による治癒率向上のための理論的背景			馬嶋秀行
15	総括			馬嶋秀行
教科書・参考書				
評価基準 および方法		授業への出席状況と提出したレポートの評価にもとづく。		
アクティブ・ ラーニング		方法： 回数：		
時間外対応		オフィスアワー		
		メール・HP	hmajima@dent.kagoshima-u.ac.jp	
		授業後		
その他				